

主な出来事

【内政・外交】

- モハディ元副大統領、党務に就任
- 政府、ジョンソン&ジョンソン製ワクチンの受け取りを拒否
- 日本、ジンバブエにワクチンのコールドチェーン機器を提供
- ロシアのダイヤモンド企業、ワクチン 25,000 人分を寄付
- EU、ジンバブエとの第3回政治対話を実施
- UNICEF、20 万冊の絵本で農村部の子どもたちの学習を支援
- 世界平和度指数でジンバブエが低い順位に
- ジンバブエ、中国企業から新型コロナウイルス感染症の亜種を検出する機器を受領
- ロックダウン、レベル 4 に強化

【経済】

- ジンバブエ、98 億 ZWL の財政黒字を記録
- ジンバブエ国営鉄道とトルコ企業、復旧と近代化に向けた投資契約を締結
- 中央銀行、当地銀行に対して預金利息の支払いを命令
- 世界銀行、ジンバブエの経済成長を 2021 年に 5.1%と予想
- 農業商品取引所の開設準備
- 年間インフレ率の低下が続く

【内政・外交】

- モハディ元副大統領、党務に就任
2 日に発表された人事異動により、ZANU-PF のモハディ元副大統領が党務を担当し、チナマサ党財務担当が党の政治委員に就任した。(3 日付ヘラルド紙)

- 政府、ジョンソン&ジョンソン製ワクチンの受け取りを拒否
ジンバブエ政府は、新型コロナウイルス感染症の第 3 波の脅威にさらされているなか、保管上の制約や副作用の可能性への懐疑的な見方を理由に、ジョンソン&ジョンソン製の新型コロナウイルス感染症のワクチンの割り当てを辞退した。(8 日付ニュースデイ紙)

- 日本、ジンバブエにワクチンのコールドチェーン機器を提供
日本は、UNICEF とのパートナーシップを通じてジンバブエに資金を提供し、適切な新型コロナウイルス感染症のワクチンにおけるコールドチェーン管理を行い、投与量を適切に輸送、保管できるようにする。この資金は、政府の新型コロナウイルス感染症のパンデミック管理能力を支援すること

を目的としており、日本からの支援では、コールドチェーン機器の調達に加え、ワクチンをより円滑に展開するために機器を管理する医療施設の能力を強化する。(8日付デイリーニュース紙)

- ロシアのダイヤモンド企業、ワクチン 25,000 人分を寄付

9日、ダイヤモンド採掘大手の Alrosa Group はロシア製ワクチンであるスプートニク V を 25,000 人分寄贈した。ジンバブエに事業所を持つ世界最大のダイヤモンド生産者である同社は、ワクチンの購入を通じてジンバブエのパンデミックと戦う支援することを約束した。(10日付ヘラルド紙)

- EU、ジンバブエとの第3回政治対話を実施

ジンバブエと EU による第3回政治対話会合がハラレで実施され、EU 側からはジンバブエの社会経済の見通しを改善するには、経済改革と汚職撲滅が重要であるとの発言があった。EU は現在の課題に直面しているジンバブエ国民を引き続き支援する用意があることを再確認し、経済的にも環境的にも同国が持続可能な成長路線に入るには、政府による構造改革が必要であると述べた。EU 側はフランス、ドイツ、アイルランド、ポルトガル、イタリア、オランダ、ベルギー、スペインなどの大使が出席し、ジンバブエ側はシャワ外務・国際貿易大臣ら代表団が参加した。(11日付ヘラルド紙)

- UNICEF、20 万冊の絵本で農村部の子どもたちの学習を支援

新型コロナウイルス感染症による学校授業の中断を受け、UNICEF は学習のギャップを解消するためのキャッチアップの一環として、20 万冊の学習用絵本をジンバブエの遠隔地に送った。同機関は政府と協力してこのプログラムを進めており、当地 UNICEF 代表は、こうした本が幼児の基礎的な読み書き能力の向上に貢献することを確信しているコメントしている。(22日付ヘラルド紙)

- 世界平和度指数でジンバブエが低い順位に

地球上で最も平和な国を調査する「世界平和度指数」の最新版が6月23日に発表され、ジンバブエは163カ国中131位にランクインした。ジンバブエ人権 NGO フォーラム事務局長は、この値が前回の評価よりも後退していることを指摘し、ジンバブエの評価が低いことは非常に憂慮すべきことだと述べている。このランクダウンは、表現の自由が認められず、ヘイトスピーチが日常的に行われ、裁判所が反対意見を封じ込め、罰し続けているという社会的、経済的、政治的状況を反映しているという。(24日付ニュースデイ紙)

- ジンバブエ、中国企業から新型コロナウイルス感染症の亜種を検出する機器を受領

ジンバブエは、中国企業の Satewave Technologies 社から 57 台の PCR 検査機の寄贈を受け、新型コロナウイルス感染症の亜種を検出できるようになった。同社は 3,500 米ドル相当の漢方薬カプセル 1,000 箱とともに、PCR 検査機を寄贈している。この装置により一度に 4 つの検査を行うことができ、45 分以内に結果を出すことができる。(25日付ニュースデイ紙)

● ロックダウン、レベル 4 に強化

ムナンガグワ大統領は 29 日、ロックダウンの新たな措置を発表し、2 週間実施することを発表した。レベル 4 に強化された同措置は、新型コロナウイルス感染症の急増に対処するために実施されたもので、夜間外出禁止令は午後 6 時 30 分から午前 6 時まで延長となり、店舗の営業時間は午前 8 時から午後 3 時 30 分までに短縮され、スタッフの 60% は自宅で仕事をし、都市間の旅客輸送はすべて禁止となった。(30 日付ヘラルド紙)

【経済】

● ジンバブエ、98 億 ZWL の財政黒字を記録

ヌーベ財務・経済開発大臣は、2021 年第 1 四半期に 98 億 ZWL の財政黒字を記録したことを明らかにした。政府は、国内市場の信頼性が高まる中、マクロ経済の安定を取り戻しており、2020 年 7 月に 837.5% だった年間インフレ率は 2021 年 3 月には 240.6% まで低下しており、銀行為替レートは四半期を通じて 1 米ドル=84 円前後で安定している。(8 日付ヘラルド紙)

● ジンバブエ国営鉄道とトルコ企業、復旧と近代化に向けた投資契約を締結

ジンバブエ国営鉄道(NRZ)の取締役会は、地元の鉄道インフラの復旧と近代化にトルコの大手建設会社 Yapi Merkez 社が投資することに合意したことを明らかにした。当地トルコ大使は、2021 年 7 月に開始される予定の MoU の実施が成功すれば、トルコやその他の国際的な企業がジンバブエでの投資機会を探しにやってくることは間違いないと述べており、取締役会も同社が資本金の調達に必要な資金を提供してくれると確信している。(16 日付ヘラルド紙)

● 中央銀行、当地銀行に対して預金利息の支払いを命令

当地中央銀行のマンガジカ総裁は、7 月から当地銀行はジンバブエドルの普通預金と定期預金口座に年率 5% と 10% の利息を提供し、米ドル口座にはそれぞれ 1% と 2.5% の利息を提供するよう指示を出した。同氏によると、普通預金口座への利息の支払いに関する 2020 年の法定文書(SI)65A を遵守する必要性について銀行に助言したという。当地中央銀行の金融政策委員会のメンバーは、この新しい措置はジンバブエの貯蓄文化を促進し、地元流動性の支援を与えるものであると述べた。(22 日付ニュースデイ紙)

● 世界銀行、ジンバブエの経済成長を 2021 年に 5.1% と予想

世界銀行は、ジンバブエに関する最新の経済報告書の中を発表し、農業を中心としたジンバブエにおける経済成長は今年 3.9%、2022 年には 5.1% になると予測している。当地世銀代表はこの報告書の中で、予想される経済成長が持続すれば、ジンバブエの人々の生活にプラスの影響を与えるだろうと述べている。また IMF も、雨による作物の豊作と電力出力の増加により、ジンバブエの経済成長率が従来の 3.1% から 2021 年には 6% に拡大するとの予測している。(24 日付ヘラルド紙)

● 農業商品取引所の開設準備

政府は、農業商品取引所であるジンバブエ商品取引所(ZMX)を運用するため、2021年法定文書(SI)184を公布した。土地・農業・水産・水・地方再定住大臣は、SIを通じてZMXでの取引の指針となる規則を定めている。ZMXの構想は、政府とFinancial and Securities Exchange Limited(FINSEC)、TSL Limited、CBZ Holdingsを中心とした民間セクターとのパートナーシップであり、FINSECが取引所設立の技術的实施を請け負っている。(29日付ヘラルド紙)

● 年間インフレ率の低下が続く

ジンバブエ統計局(Zimstat)によると、ジンバブエの2021年6月の前年同月比インフレ率は5月の161.9%から106.64%に減速した。当地中央銀行は7月のインフレ率が55%に減速すると予測している。(29日付ヘラルド紙)